



メイン会場

分科会は、メインとサブの2会場に分かれて同時進行されました。どちらの分科会に出ようか、直前まで迷ったという方もチラホラ。

2016年8月6日・7日の土日、性的マイノリティの全国大会が、松山市三番町コムズで開催されました。

地方で初の全国大会。

交通アクセスは決して

便利とは言えない愛媛ですが、魅力的な分科会が

12も集まり、県内外からたくさんのおみなさんが参加されました。

「性的マイノリティのことを勉強したい」という、当事者以外の方も多数ご来場され、確かな社会の変化を

感じられる二日間でした！

大盛会御礼!!!



巻頭集

広々としているはずのコムズ会議室がまるで狭く感じます。登壇者のお話にうなづいたり、熱心にノートをとったり、皆さん、真剣です。たくさんのお学びの得られる、地方では稀有な機会でした。



サブ会場

分科会の合間には、交流・展示コーナーで一休み。展示ブースやテーブルで、和やかな歓談の輪ができていました。

冷たいジュースの販売も！スタッフが頑張って手配しました。



交流・出展コーナー

全国虹の大会

性的マイノリティの理解を進める 愛媛大会

REPORT



三番町通りに面するコムズ入口で、レインボーの看板がお出迎え。ようおいでたぞなもし！





誰でも使えるトイレ有り。
このジェンダーフリー
トイレのサインは、
PROUD(高松市)さんの
プロジェクト。



一部の分科会で
は、情報保障(要
約筆記)を用意す
ることができま
した。



各分科会ごとにお渡ししたアンケートには、参加者の皆さんの
熱量あふれるご感想がたっぷり書かれて返ってきました。
そのほんの一部を、PICK UPしてご紹介します！



地元NPOとどう連携できるか

松山で活躍のNPO有志ほか

- 複数のNP
Oが問題を共
有し協働する
ことでの解決できた実
際の出来事を知り、つ
ながりの大切さを改
めて感じた。
 - NPOサポートセ
ンターのような中間
支援組織を利用して、
他分野の団体とのつ
ながりを作れること
が知れ、勉強になった。
 - 地元に戻ったら、早
速実行したいです。
- 立場の違うNPOが、
中間支援組織をハブ
に連携して問題と向
き合った事例を報告。

手話ろう！ろう LGBT in 松山

Deaf LGBT Center

- ろう者
Tの存在を意
識する機会が
なかったため、初めて
知ることがたくさん
でした。
 - 性について話しや
すい空気で、いろいろ
な立場の人の気持ち
が聞けました。
 - 手話通訳にも差別
的な表現があり、研修
の必要があると知り
ました。
- ろう者のLGBT特
有の問題や支援方法
を、グループワークを
通じて考える。

LGBTQ電話相談の支援報告とケースワーク

NPO共生ネット

- 相談者にQ
(自分の性自
認や性的指向
を特定していない人
が多いと知り驚いた。
 - 差別や偏見が生活
困窮を生み出したり
深刻化させているこ
とを、社会問題とす
るにはどうすればいい
かと考えさせられた。
 - 同行支援の話が参
考になった。相談員に
相当なスキルが要求
されると思った。
- よりよいホットライ
ンの専門回線に寄せ
られた事例を元に、課
題の解消策を考える。

初の全国意識調査から見てきたもの

科研費「日本におけるクィア・スタディーズの構築」研究グループ

- 科研費で性
的マイノリ
ティに関する
量的調査ができると
いう事実にも勇気をも
らった。
 - 義務教育で教える
ことへの拒否率がこ
こまで高いとは。
 - 性別・年代別・地域
別によって、ある程度
傾向があることがわ
かった。この現実をど
う変化させていくか
が今後の課題。
- LGBTについての
初の意識調査の結果
と数字の読み方を分
かりやすく解説。

LGBTにまつわる法律相談から

法律家有志@西日本

- 既存の法律
で、同性パー
トナーとの法的
関係を異性婚と近
い状態まで持ってい
けることが分かった。
 - 弁護士にも当事者
がいるということは、
考えてみれば当然で
すが、驚くと同時に心
強く思いました。
 - 友人がトランス
ジェンダーなので、人
生設計のアドバイス
に活用します。
- LGBTの成年後見、
葬儀、恋愛問題に、既
存の法律がどこまで
対応できるかを語る。



おにぎりと、
具沢山おみそ汁と
さりげないけど
手の込んだおかず…！



美味しく
いただきました！



格安のお昼ご飯を調理してくれたのは、「ウエルエイジングクラブまつやま」の皆さん。
LGBTを応援するために、ひとはだ
脱いでくれました！

つないできた10年～親としてアライとして～親御さんたちの活動

NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会

子どもからカミングアウトされた親の立場から、当事者周囲へのサポートを語る。

参加者 VOICE ●当事者の親となり、初めて気がつき、勉強をされている事がよくわかりました。

●私たち当事者自身が、人権や差別についてNOと言っているだろうか？助けられてばかりで、甘えてい
るのではないかとい
う思いがこみ上げま
した。ことなかれでは
社会を変えることは
できません。

性分化疾患を知る～LGBTがDSDを持つ子どもたち・人々・家族のアライになるには～

ネクス DSD ジャパン

体の性の様々な発達の「DSDs」について、当事者の気持ちに寄り添った解説をする。

参加者 VOICE ●当事者の中でもない性自認する人は少ないと分かった。

●社会規範や医者の権威によって自分の体の状態や性別を扱われ、割り振られる恐怖に胸が締め付けられました。

●医療・教育・職場での基礎知識として広く普及すべき。

医療の現場と性的マイノリティ

にじいるナースネット

LGBTが医療機関を利用しづらい現状を変える、医療従事者の取り組み。

参加者 VOICE ●医療従事者が様々なケースを想定して、LGBTの患者が安心して相談できる関係を築くことが必要で、そのためには知識の向上が必要。

●医療従事者は研修で学ぶことができるが、他の患者への対応が難しいと思う。LGBTの存在が当たり前になる世の中になればいいと思う。

愛媛における行政の動き、そして全国では？

虹色ダイバーシティ/レインボープライド愛媛

愛媛県や松山市の行政担当者や、LGBT支援での行政との連携を討論。

参加者 VOICE ●愛媛の取り組みがアツい。職員が熱心に取り組んでいて羨ましいです。

●「行政が主導している」ことの安心感や無関心層への発信力は、確実にあると思うので、より多くの自治体に実施してほしい。

●働きかけの大切さを改めて感じました。安心できる関係を作ることが大切。

LGBTの困難解消に向けて、実現したい法制度

LGBT法連合会

LGBT差別禁止法の試案の内容を詳しく説明。法整備の意義を伝える。

参加者 VOICE ●実話を元にしたワークショップで、「自分は暴力を受けている」と思っていたんだ、と思いました。

●法整備の重要性を知識として理解できた。

●職場でハラスメントに加担しないように、無関心もいけないので勉強しようと思
います。



愛媛大会 DATA

来場者数……約 275 名
延べ人数……約 1,037 名



宝塚での LGBT に対する不適切発言から相互理解を考える

BASE KOBE

発言の自民党市議が、自らの知識の欠如を振り返り、相互理解の方向性を語る。

参加者
VOICE

● 問題発言後、大河内議員が勉強に励み、

LGBT法の与党案の立案に携わったことが分かった。

● 理解が進んでいない状態で差別禁止法や同性婚を押し進め、納得できないまま法に従わざるをえない人が多いので、「理解促進」が必要だと分かった。

中学校で性的マイノリティをどう扱ったか？

西条市丹原東中学校の先生方

人権教育に性的マイノリティを取り上げた丹原東中の実践内容と生徒たちの変化を解説。

参加者
VOICE

● 丹原東中の取り組みが校内だけでなく

まらず、地域への啓発活動に発展していき、ここから全国へ広がっていくという理想的な形を見た。

● 企業であれ学校であれトップダウンで実施することが、やらざるを得ない状況を作り、成果や結果を出すのも早いのだと思います。



6日の終わりに開かれた交流会も、大勢の方が参加されました。松山大学ギタークラブの演奏をバックに、話は尽きません。

性的マイノリティ関連の団体をはじめ、教育関係者や行政担当者など、様々な立場の方が全国から集まり、「今回得たものを地元を持ち帰って活用します」と口々におっしゃっていました。

今後、性的マイノリティの理解を進める動きは、全国に広がっていくものと、期待できる大会になりました。